[米国ノ広土ヲ経過シ、既往ニ因テ将来ヲ想像スレハ、今ヨリ 40 年ノ後ハ哈馬哈ニモイカナル紅塵ヲ簇シ、更ニ「プレーリー」ノ原野ニ林村鬱茂シテ、移民ノ車ヲ転走スルヲ見ルニ至ラン歟]

[「ミゾリ」河ヲ渡リ、「コンシュルブラップ」邑ノ駅ニ上岸シ、此ニテ市高俄及ヒ哈馬哈鉄道会社ノ車ニ移リ、又数時ヲ移セリ、此邑ヨリ「アイヨア」州ノ域ニ加ル、

「アイヨア」州ハ、地積五万五千〇四十五方英里、人口ハ一千八百六十年ニ六十七万五千ナリシニ、七十年ニハ百十九万千七百九十二人ニ及ヘリ、首府ヲ「チヅスモンス」ト云、密河谷平地ノ繁庶ハ、是ヨリハシマル、

「コンシュルブラップ」駅モ、亦一大邑ナリ、鉄軌三線ヲ輻ス、中線ハ「チヅスモンス」ニ赴キ、南線ハ聖路易ニ赴キ、北線ハ即チ市高俄ニ赴ク、二時ニ軔ヲ発シ、南線ヲトリ走ル、此ハ「ミゾリ」河ノ東岸ニテ、四面ニ岡巒相環リ一原ヲツツム、村落処処ニアリ、林樹村ヲ包ミテ岡ニ被ル、其林樹ハ楓櫟榆栗ノ類、正ニ凋落ノ後ニテ、枝条叢然、村家落落トシテ、粉皎然タリ、中ニ粛酒タル林荘ヲミル、数日無人ノ漠野ヲ走リ、此ニ至ラハ、車ハ華麗ヲ増シ、野ハ景色ヲ増シ、景況頓ニ耳目ヲ改メタリ、田野ハ牧地多ク、果林モアリ、耕鋤ノ地ニハ玉蜀黍ヲ収メタル跡多シ、密河及ヒ「ミゾリ」河谷ノ湿原ハ、土宜玉蜀黍ニ適ス、此辺ノ州郡ニテ、重ナル産物ハ此穀ニアリ、]

[玉蜀黍ハ印甸穀ト名ク、元此辺ノ土人、種テ食トナセシニヨリ、世ニ弘マリタルトナリ、此穀ハ滋養液ヲ多ク含メトモ、消化甚タ遅シ、医家コレヲ試験セシニ、五時間ヲ経テ始テ消化シツクスト云、故ニ他ノ消化シ易キ穀肉ト錯エ食スレハ、反テ胃ノ健康ニ宜シ、米国ヨリ此穀ヲ英国ニ輸出スルコト夥多シ、殊ニ密河谷ノ諸州ヲ第一トス、一千八百六十年ニ「アイヨア」州ニ収メシ玉蜀黍、四千百十一万七千「ブッセル」、南方「ミゾリ」州ニハ七千二百八十九万「ブッセル」、東境「イルイノイス」州ニハ一億一千五百万「ブッセル」ニ越ユ、密河谷ノ平地ニハ、此穀ノ産出高最モ夥多シク、其数年年ニ増加スルト云、高崎正風カ筆記ニ、仏ノ農学博士「デーラン」氏曰ク、玉蜀黍ハ、米国ヨリ来リシ貴穀ニテ、人民及ヒ獣畜ノ食料トナリテ、利益極メテ多シ、仏蘭西ニ於テハ、南ト西トノ州州ニテ耕作ス、「ロリール」以北ハ熟セス、水利ヨキ暖地ナレハ、必ス繁茂シ、実ヲ獲ルコト多シ、寒冷ノ地ニハ熟セス、花ハ雄花ヲ茎端ニ開キ、雌花ヲ茎ノ中間ニ開ク、雄花ハ牧畜ノ食料トナスヘシ、能ク注意シ培養スレハ、一町ニ六十「ヘクトリットル」ヲ得ヘシ、一「ヘクトリットル」ノ価ヲ平均十三「フランク」トシテ、一町ノ地ニ七百八十「フランク」(約百五十円)ナリト、玉蜀黍ハ我日本ノ山僻ニモ種ヘテ食トナス所アリ、都邑ニハ、只稈軟ナルヲ煮テ、小児ニ与ヘ食セシメルニ過ス、米国及ヒ欧州諸国ニ於テハ、近代甚タ貴要ノ食トナシ、市高俄及ヒ聖路易府等ノ穀物市場ニ運搬シ、以テ麺包ヲ製シ、酒造ニ用ヒ、併セテ牛馬ニ食セシム、仏国、日耳曼諸国ニモ耕植スレトモ、米国ヨリ輸出ノ高甚タ大ナリ、]

[進行二十英里ニテ、「パシフィック、シチー」ニテ姑ク停車シ、「ケレンウードブ」ヨリ、又岡稜ヲ上リ、東ニ向ヒ走ル、是ヨリ地勢漸ニ上リ、漫坡起伏シテ、田野爽塏ナリ、聯連邦志略ニ、此州ノ地勢ヲ相シ、旁薄岡稜起伏ノ勢トイフ、真ニ然リ、「オマハ」ヨリ河浜ノ低地ヲ経過シ、一度ヒ岡坡ヲ上レハ、地勢ニ漸ニ昂リ漸ニ低レ、時ニ洞道ノ間ヲ走リ出レハ、前後ノ岡坡ハ、漫然ニ起伏ノ勢ヲナシ、州民其原ヲ耕鋤シ、以テ牧シ、以テ播種シ、以テ果林トナス、樹木処処ニ林ヲナシ、中ニ溝澮ノ縈ルアリ、小川ノナカルルアリ、五英里ニ一小村、十英里ニ一大村ニアフ、飛鳥翺翔シ、牧畜群遊ス、憶フニ三十年前マテハ、此辺モ亦落機漠野ト、一般ノ荒原ニテアリシナルヘシ、五時四十分ニ「ウィルリスカ」駅ニテ晩食シ、是ヨリ夜ニ入リ、「オスケオラ」「チャーリントン」「アルビア」「オーンムア」「ファレル」ナトノ邑ヲスク、] [十八日、今暁午前三時ニ、「ビューリントン」邑ヲスキ、密士失比河ノ長橋ヲ越エ、「アイヨア」州ノ地ハ此河ヲ界ヒテ、是ヨリ「イルイノイス」州ノ域ニ入ル、]